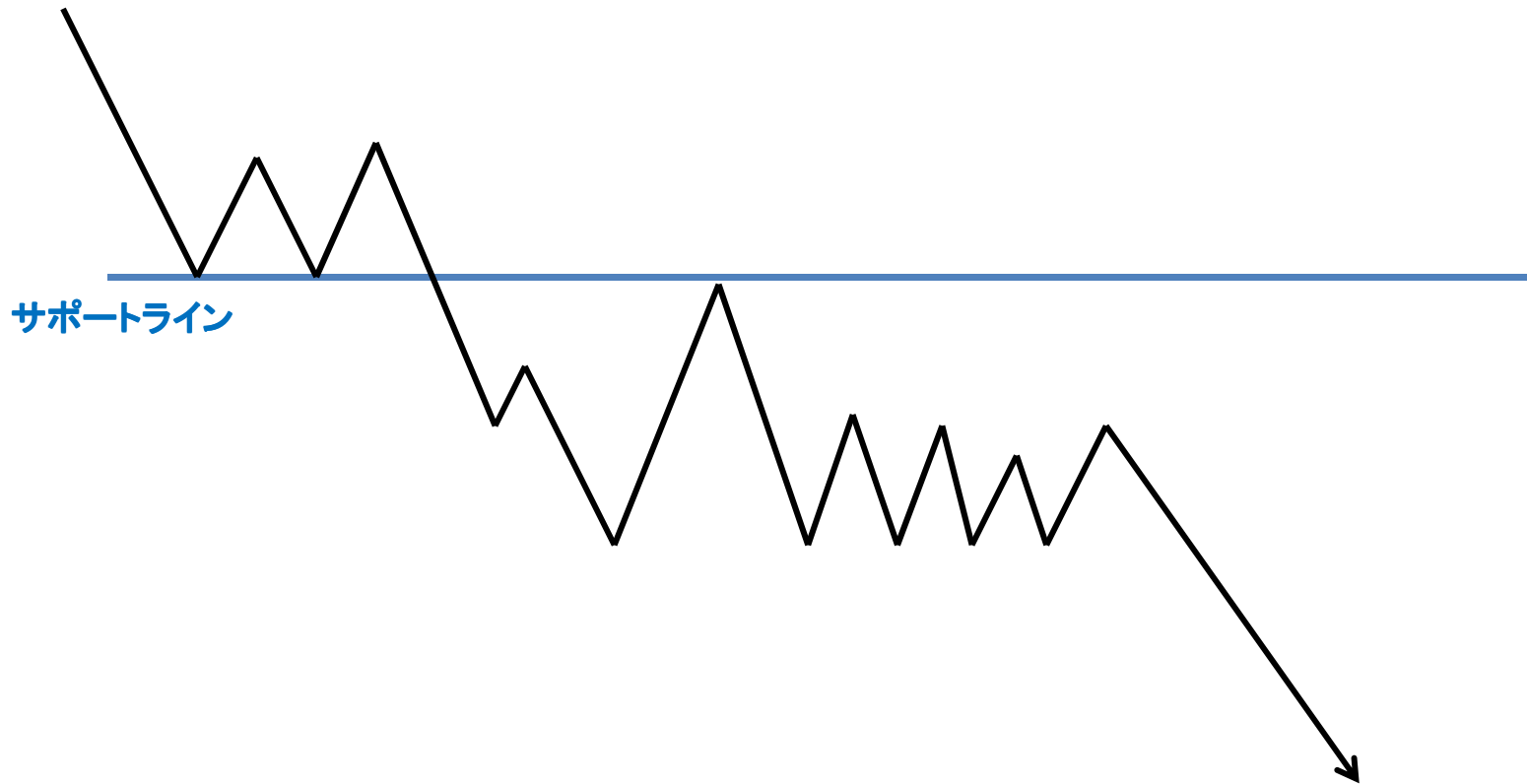


本当は難しいブレイクアウト
ブレイクアウトを見極めて勝つ！

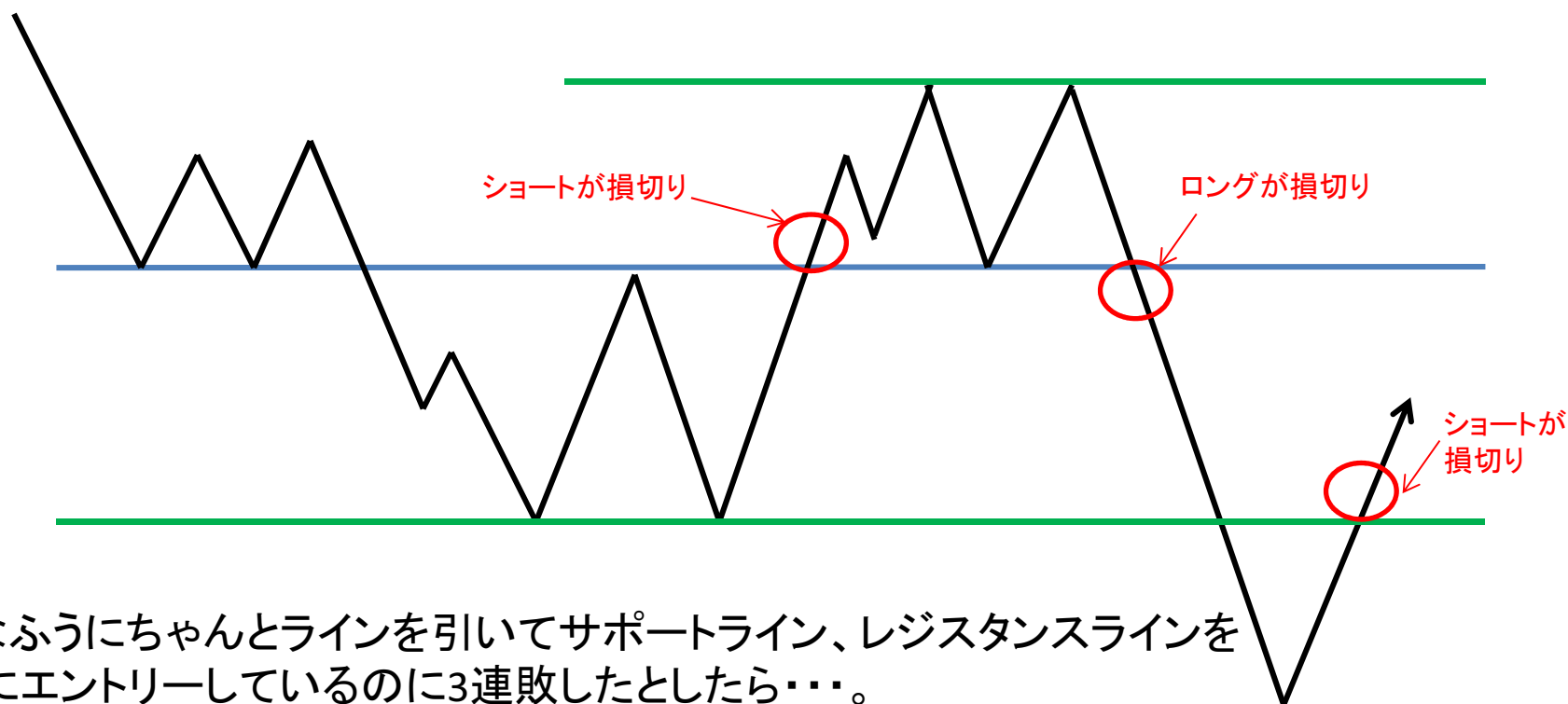
王道FX

問題: エントリーのポイント



チャートを簡単なラインで表してみました。このような動きの時、エントリーすべきポイントはどこになるでしょうか？エントリーポイントを○で囲んでください。回答は最後にありますので、順に読み進めていってください。

ラインを引いているのに連敗した時は・・・

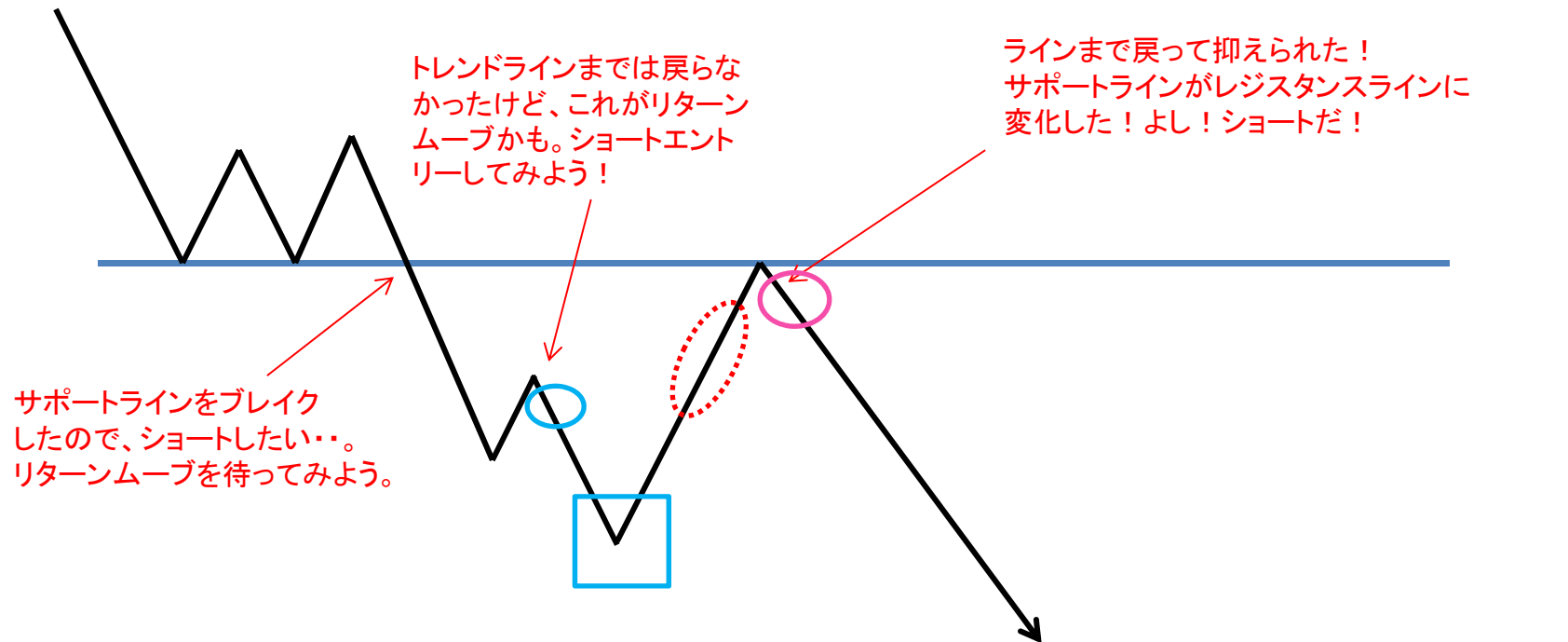


こんなふうきちんとラインを引いてサポートライン、レジスタンスラインを基準にエントリーしているのに3連敗したとしたら・・・。

なんだかもう全然わからなくなってしまうそうです。

このような状況に陥ったときは、慌てたり感情的になったり投げやりな気持ちになったりして無駄な損失をくりかえしてはいけません！連敗したときは、負のスパイラルに陥る前にチャートから一旦離れて気持ちを落ちつけましょう。

ブレイクアウトのエントリーを考える

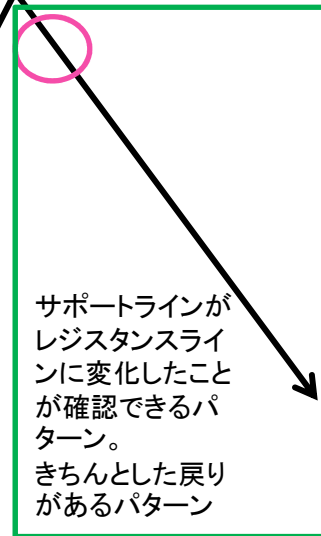
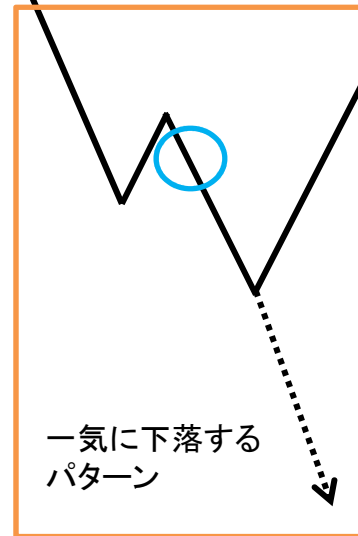
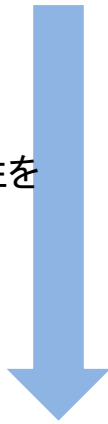


- サポートラインブレイク後の一発目の戻り売りは入れてみる(通常より小ロットでもよい)
- 思うように伸びなかったら一旦逃げるのもアリ。
- 逃げなかった場合、この部分では含み損になっているが、根拠のない損切りは避けるべき。サポートラインを意識してエントリーしたなら、ストップはサポートラインの少し上に設定する。
- ショートエントリー。 ○ でエントリーしたポジションがある場合は、追加ショートしても良い。

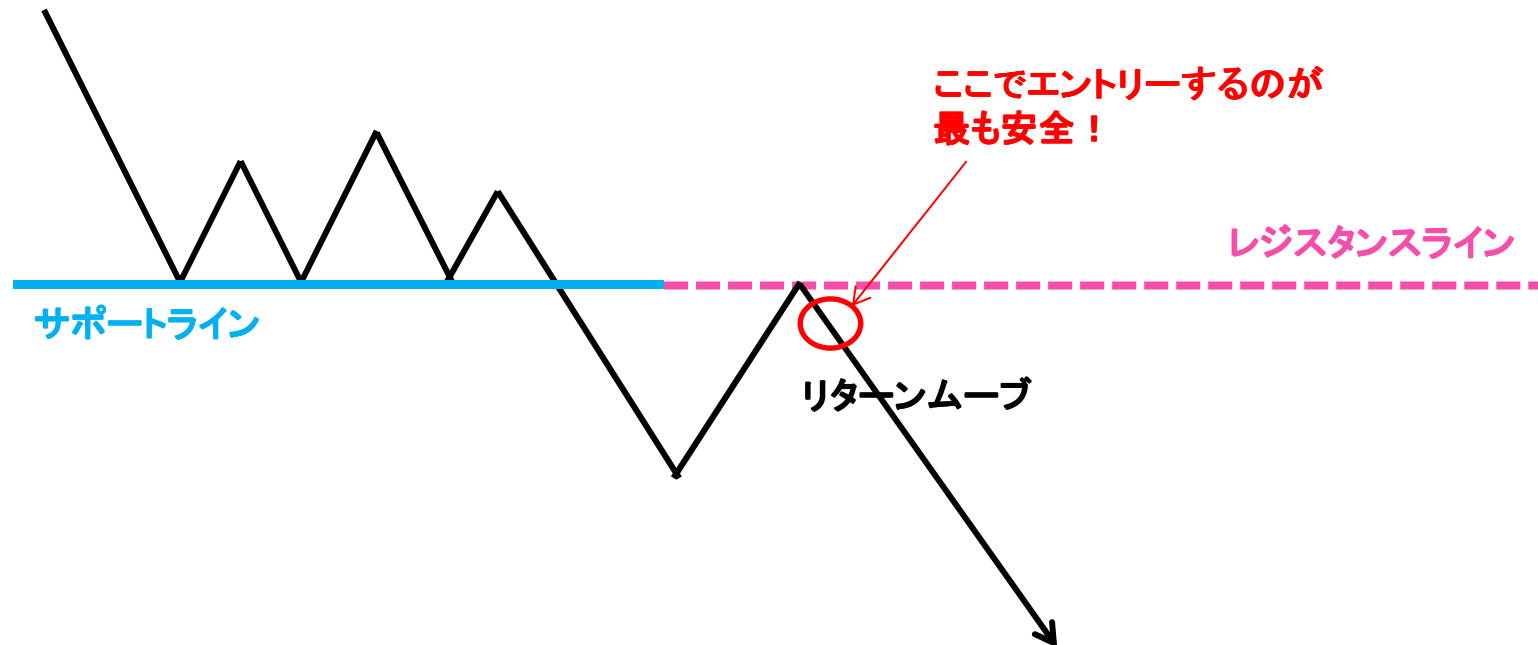
ブレイクアウトのエントリーを考える

水色○、ピンク○どちらのケースになっても
対応できるような心づもりで1発目を狙ってみましょう。
最初のエントリーで利が伸びていけばラッキーですが、
そうでなくても2発目に乗れば大丈夫！

環境認識で方向性を
しっかり決めること

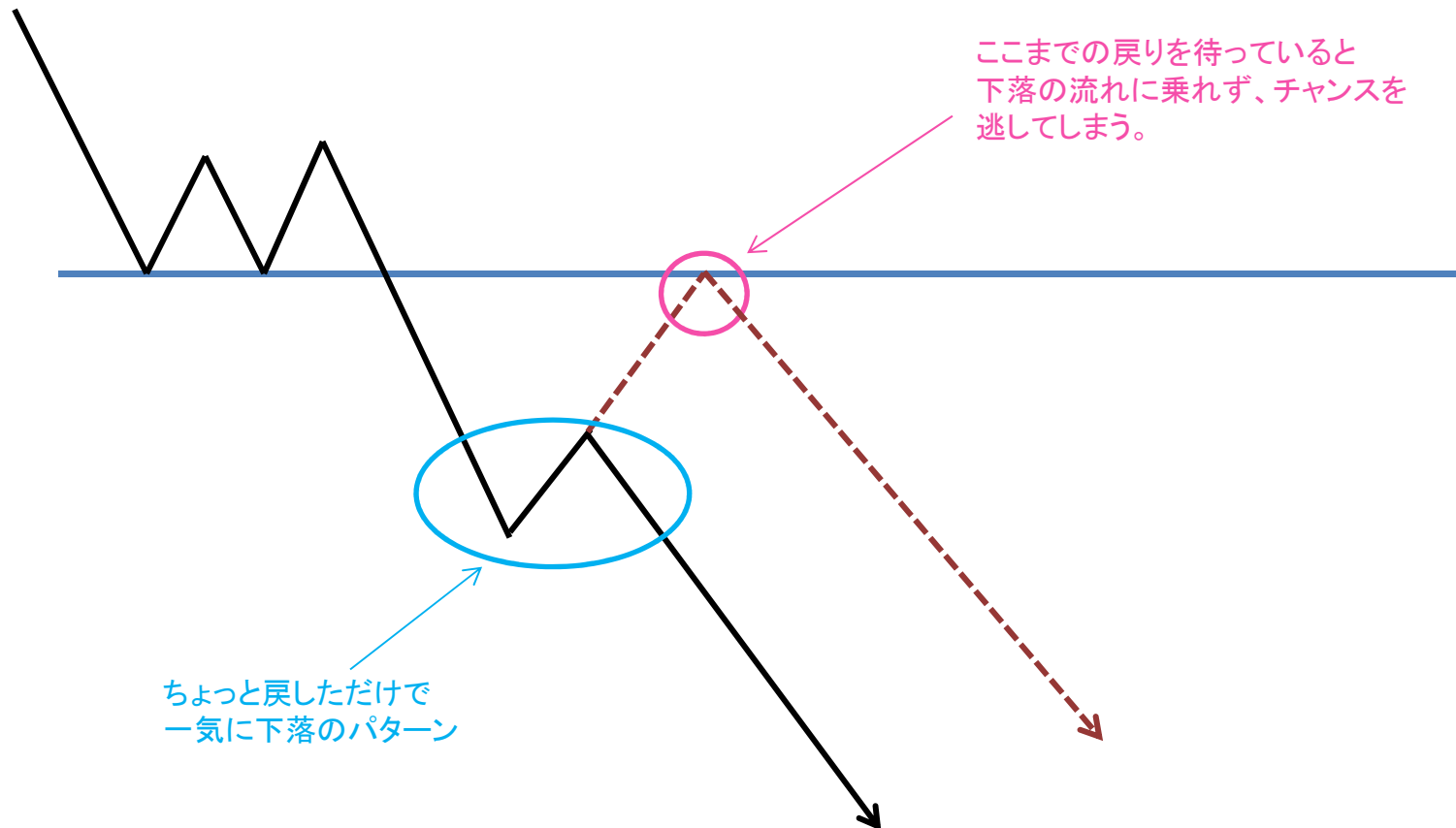


最も安全なエントリーのポイント



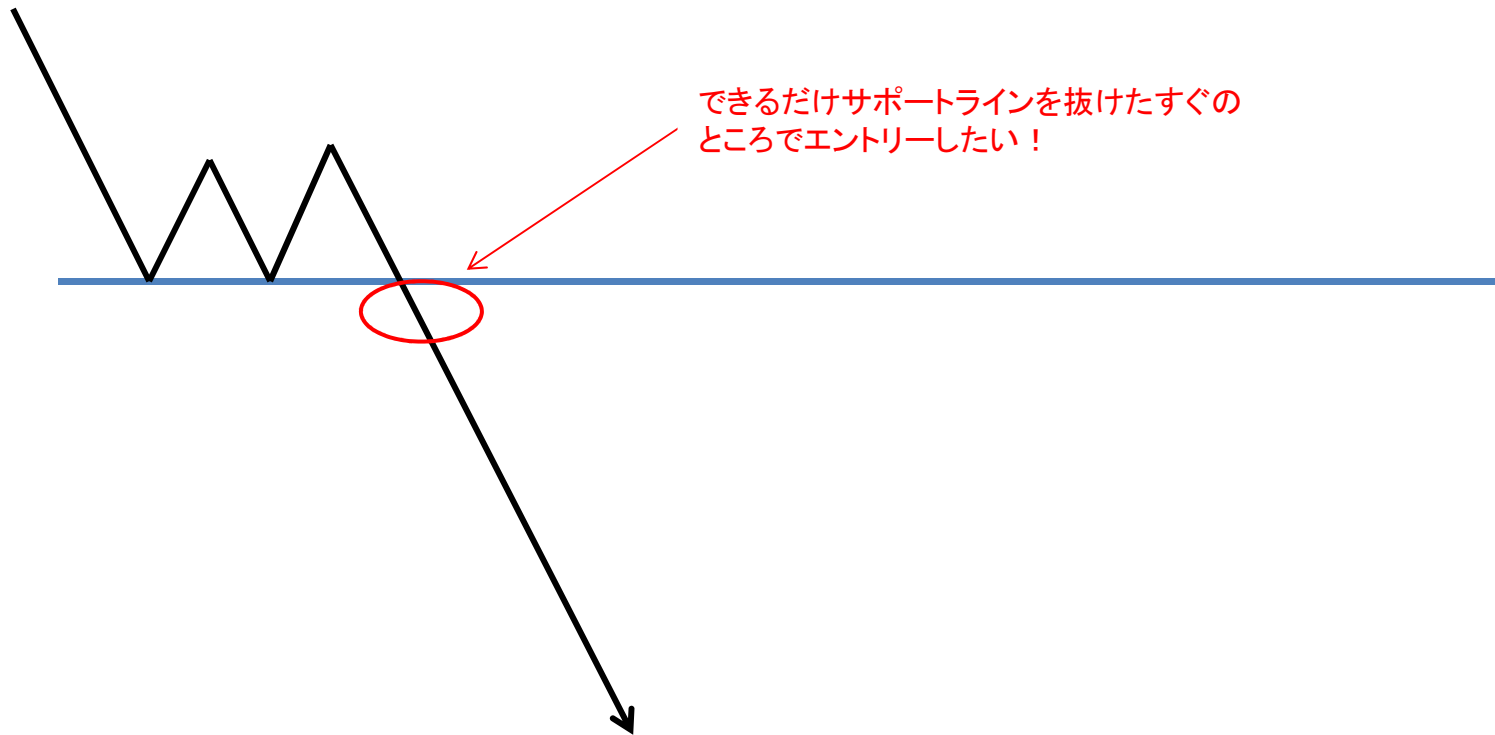
何度も下値を支えられサポートライン(水色ライン)として機能していたラインを下にブレイクし、その後そのラインで上値を抑えられたことによって、サポートラインがレジスタンスラインに変化したことが確認できます。
この動きを確認してエントリーするのが最も安全です。

ブレイクアウトのエントリーを考える



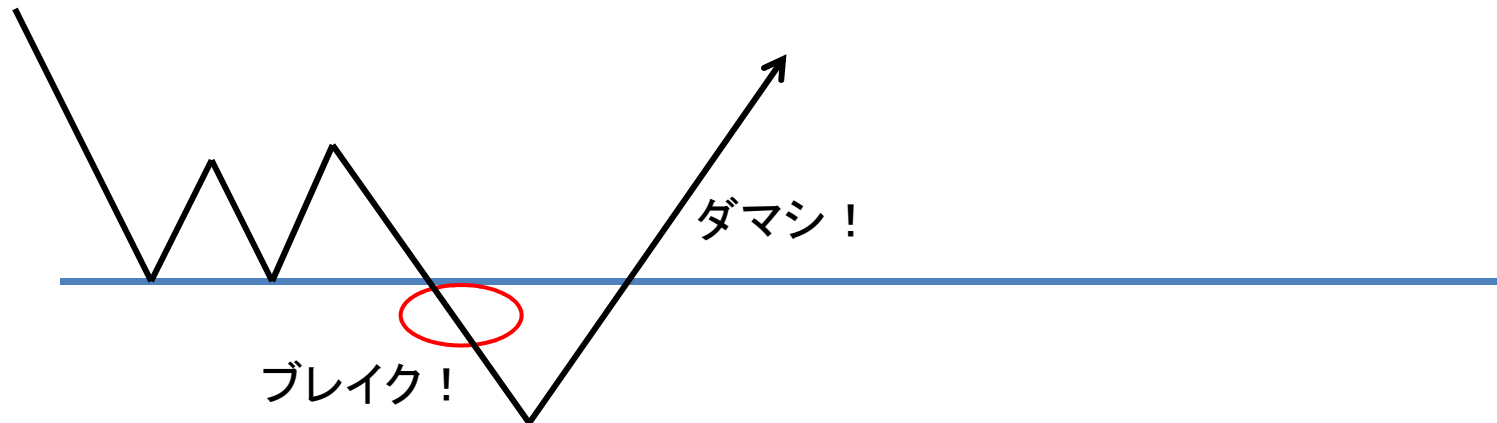
一気に下落、あるいはわずかに戻しただけでしっかりした戻りがなく下落・・・のパターンの時に、サポートラインまでの戻りを待っているとチャンスを逃してしまいます。

ブレイクアウトのエントリーを考える



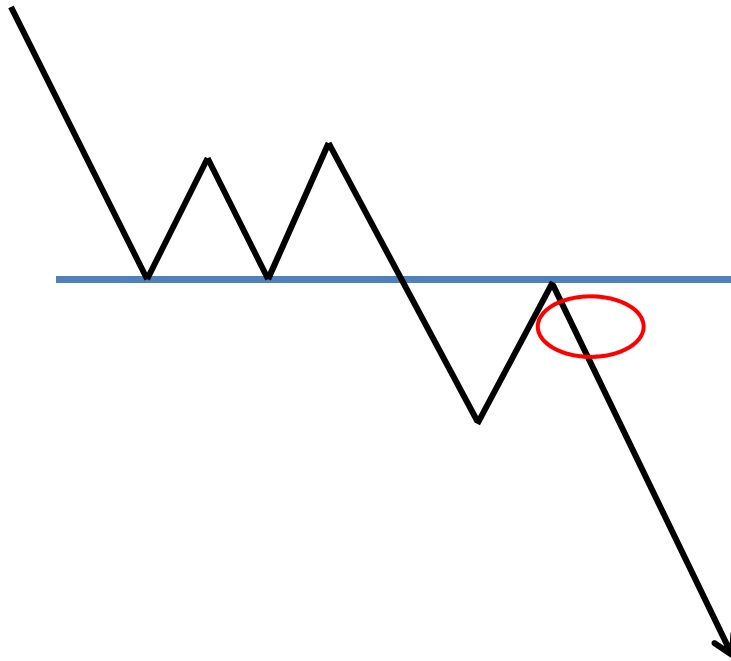
何度も下値を支えてきたサポートラインを抜けた・・・ここを抜ければ大きく動くだろうというポイントだったりすると、サポートラインを抜けたらすぐにエントリーしたほうが有利だろうと考えがちになります。でもこれはNGです！

ブレイクアウトのエントリーを考える

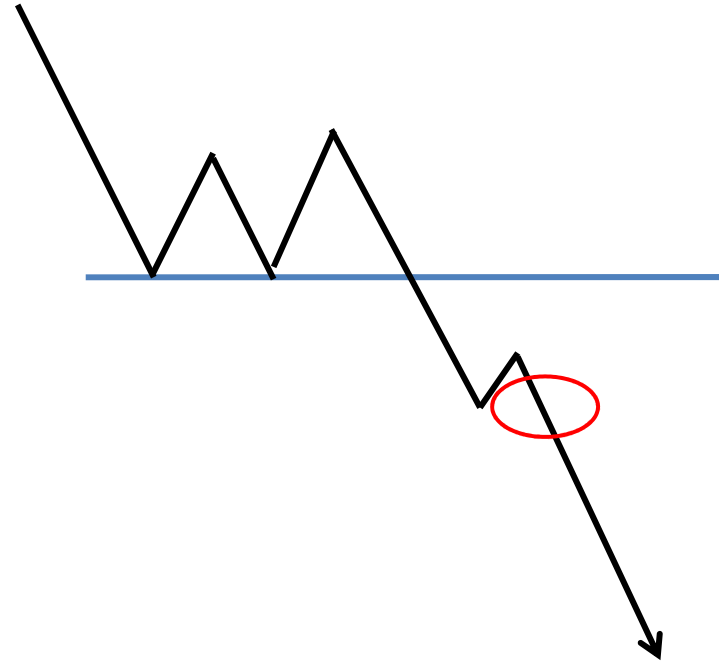


サポートラインを抜けた瞬間エントリーすると、上図のようなダマシにあう確率が高まります。
ですから、ここは手を出してはいけないポイントです！

ブレイクアウトのエントリーを考える

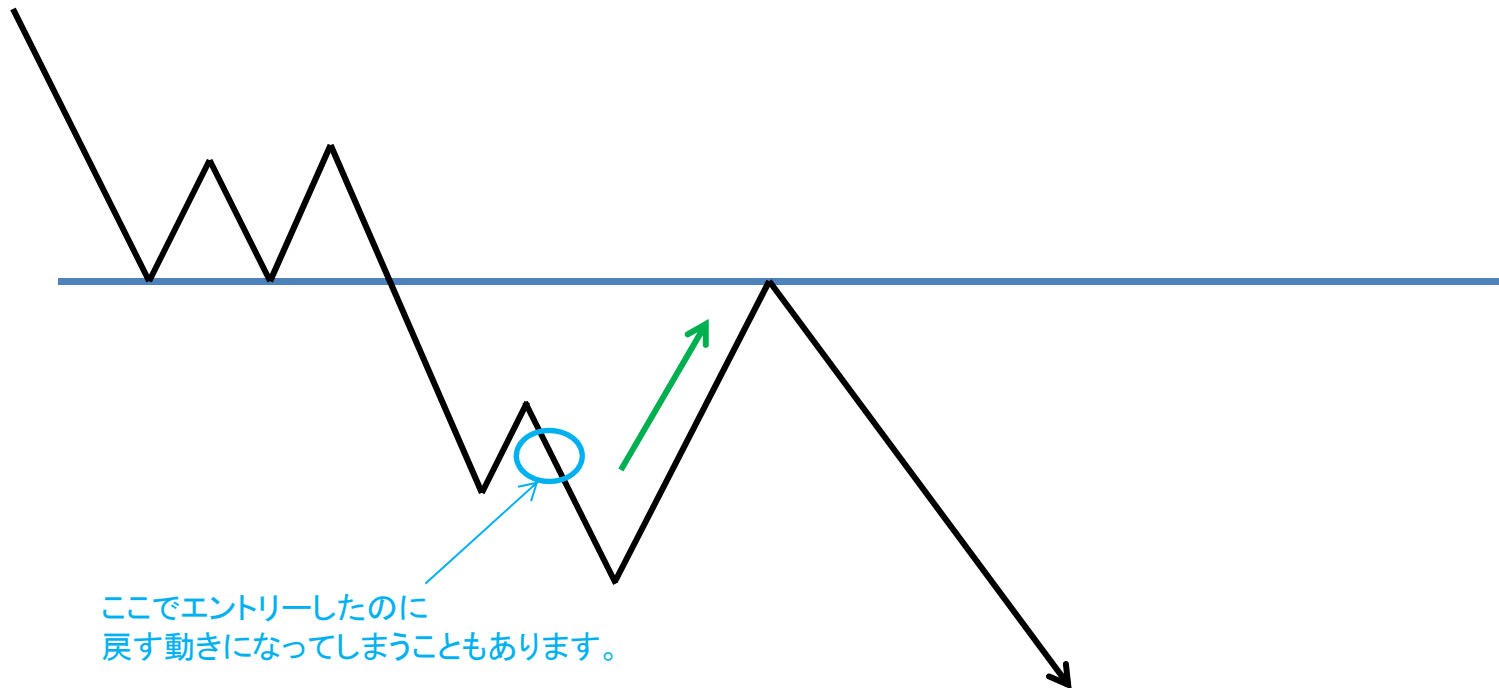


ダマシにあいにくい最も安全なパターン。
でも、ここまで戻るのを待っていると
右図パターンの時、チャンスを逃してしま
いますね。



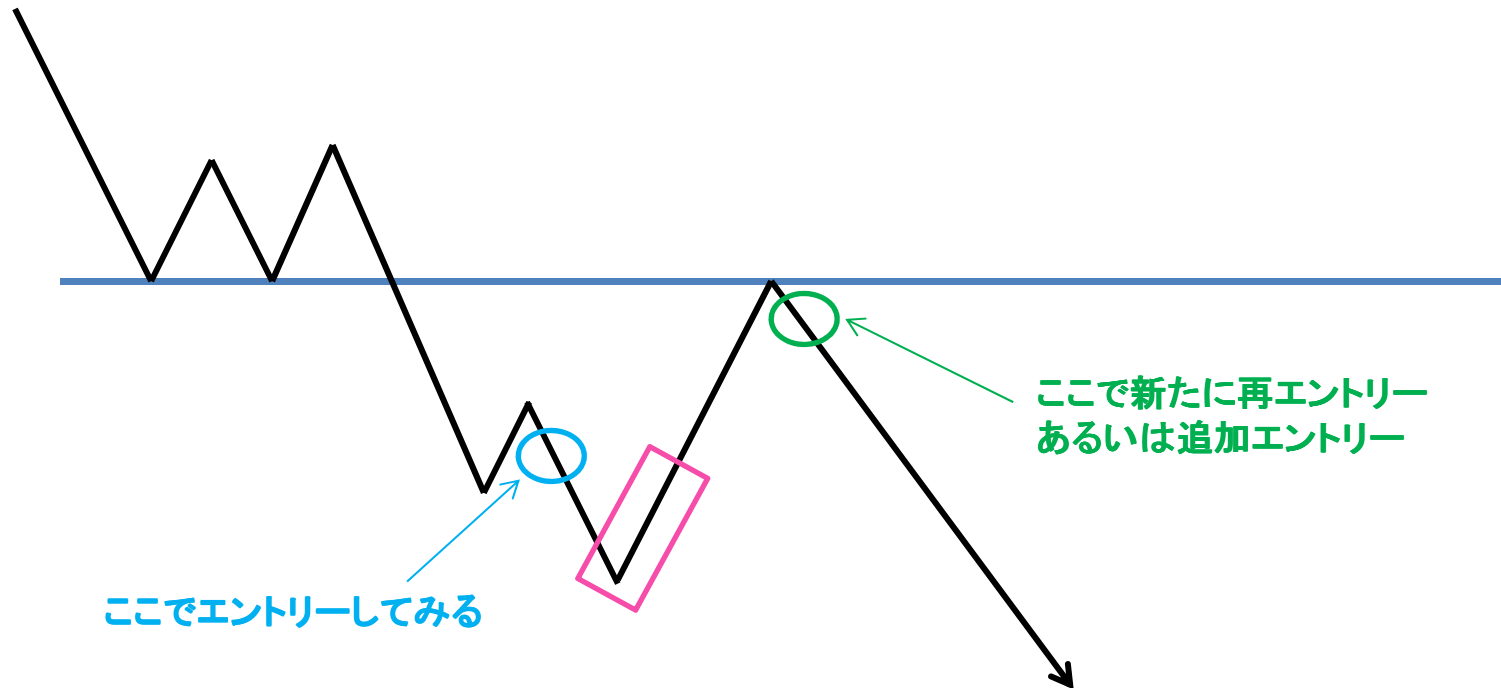
下げを狙っている場合は、最初の小さな
戻りを狙っていてもいい。
ただし、その後戻るシナリオも考えロット
数の調整やストップの設定をきちんと行な
うことが前提となります。

ブレイクアウトのエントリーを考える



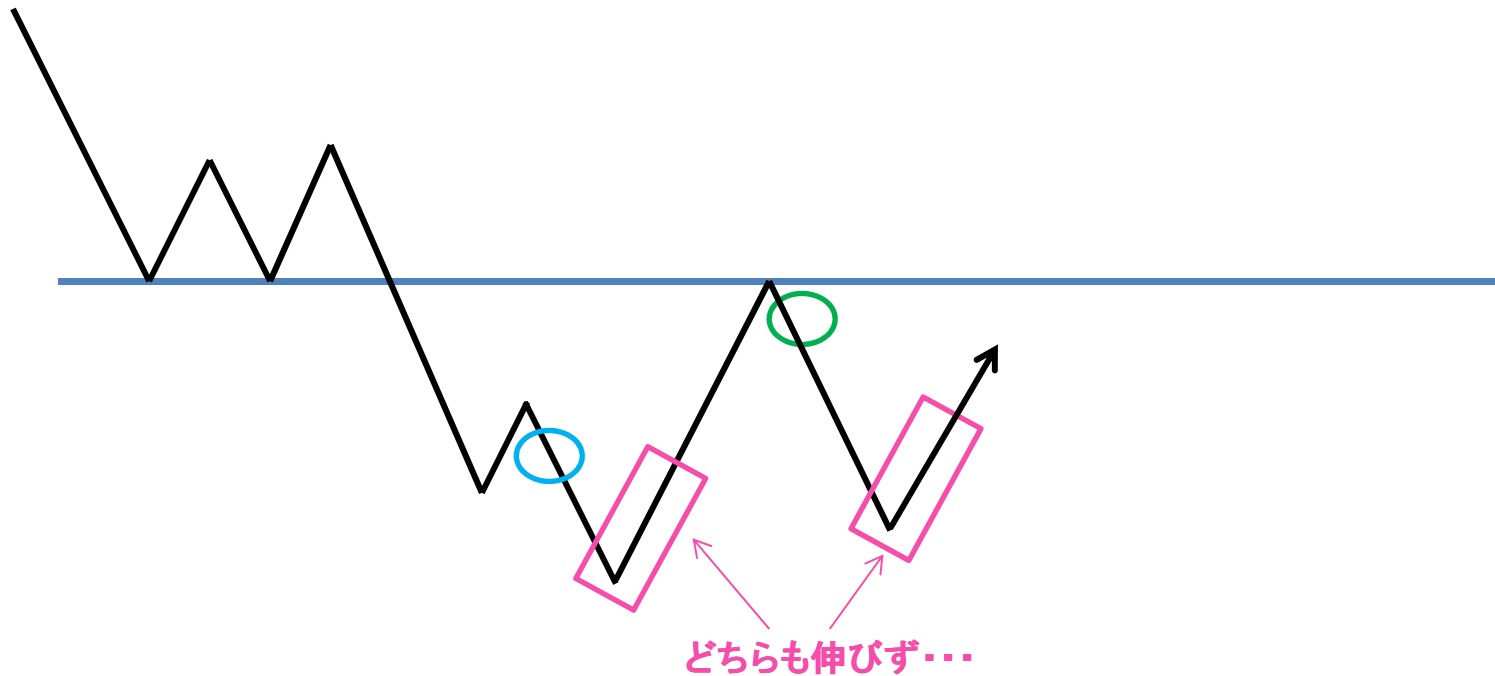
最初の小さな戻り水色○でエントリーした場合、その後戻す動きになる可能性もあるということを頭に入れておくことが大事です。

ブレイクアウトのエントリーを考える



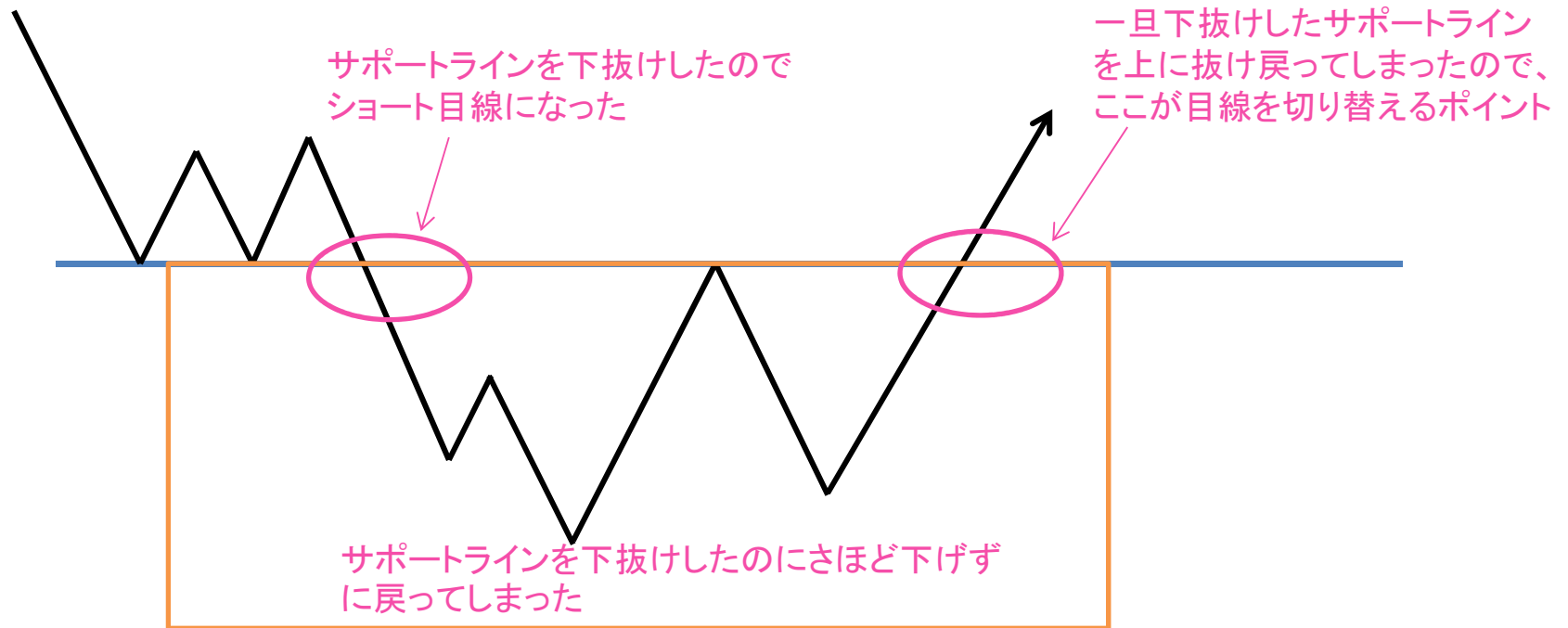
最初の小さな戻り水色○でエントリーしてその後戻す動きになった場合、薄利や建値決済で一旦逃げるのか、ラインの少し上にストップを置いて粘るのか、自分のスタンスを予め決めておくことが必要です。そして次のチャンスが来たら再度エントリーするのか、追加でエントリーするのかなども考えておきましょう。

ブレイクアウトのエントリーを考える



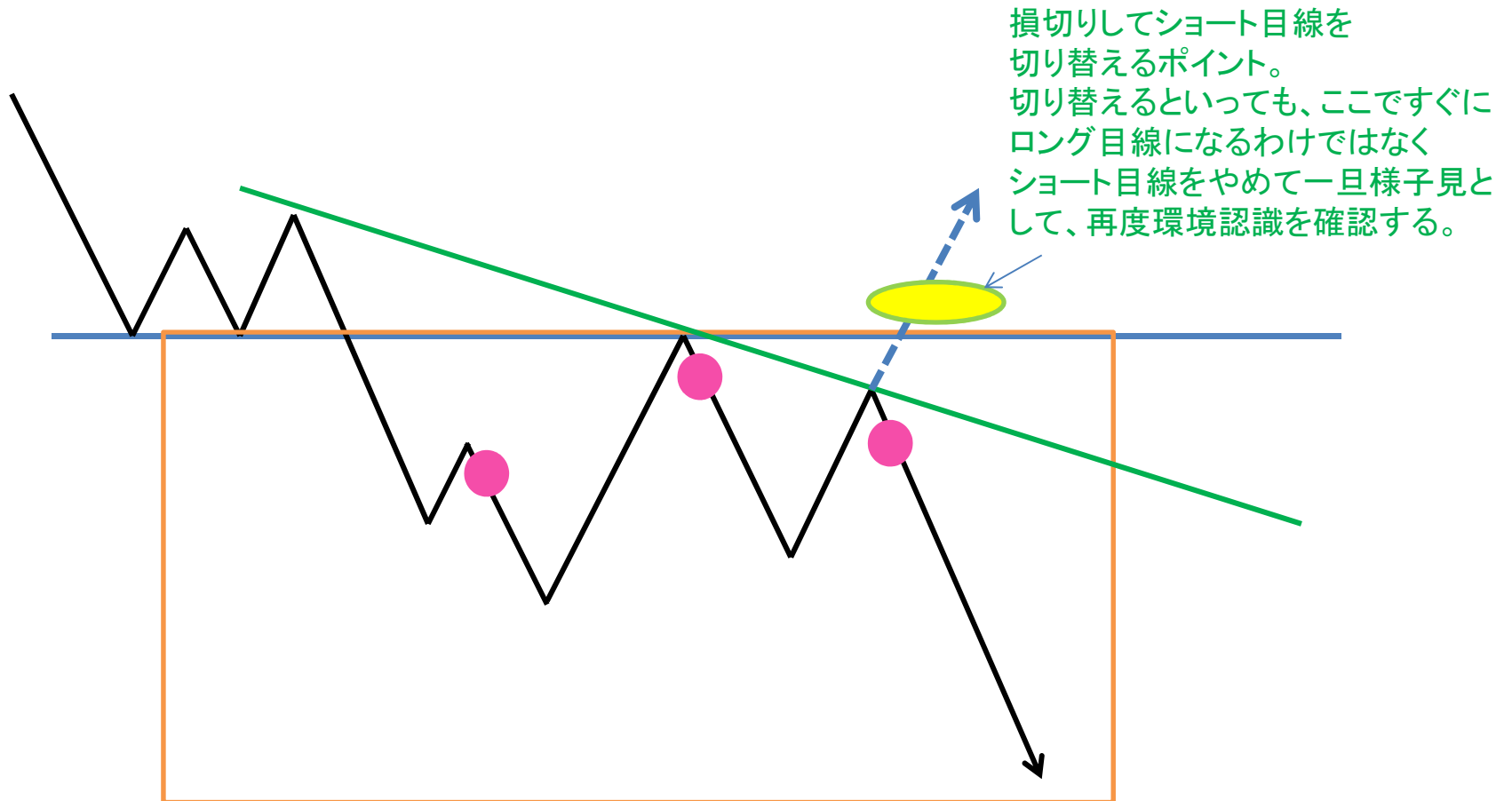
最初の小さな戻り水色○でエントリー→逃げる、2回目の戻り緑色○で再エントリーしても伸びずに戻ってしまうケースもあります。ここで大事なのは、戻りの動き(ピンク色□)になった場合、ロング目線に変えないことです。ショートしたけど伸びずに戻ったからじゃあロング・・・このような考え方でトレードしてはいけません。

ブレイクアウトのエントリーを考える



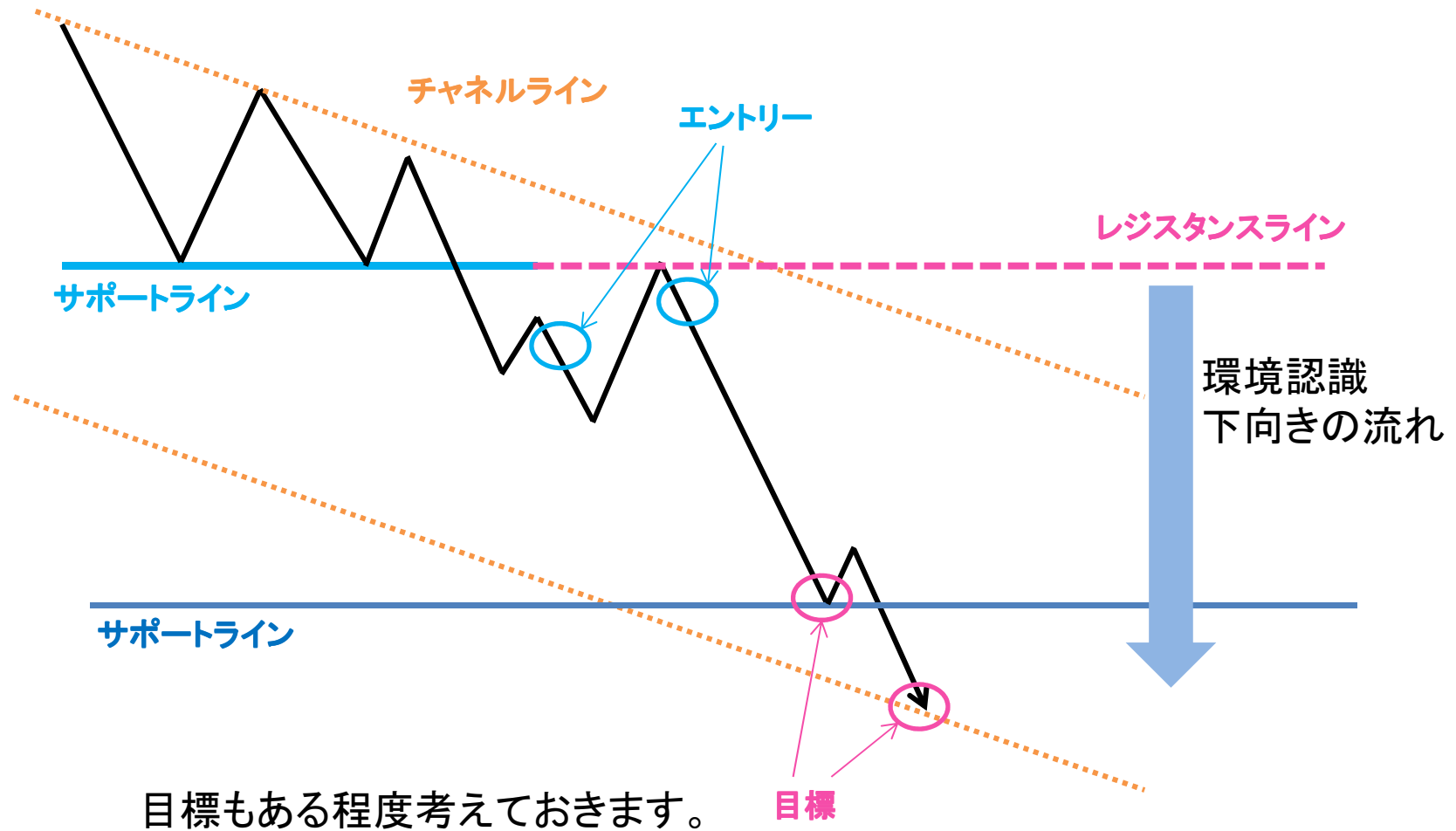
ショート目線を切り替えるポイントは、一旦下に抜けたサポートラインを上に抜けて戻ってしまったところになります。

ブレイクアウトのエントリーを考える

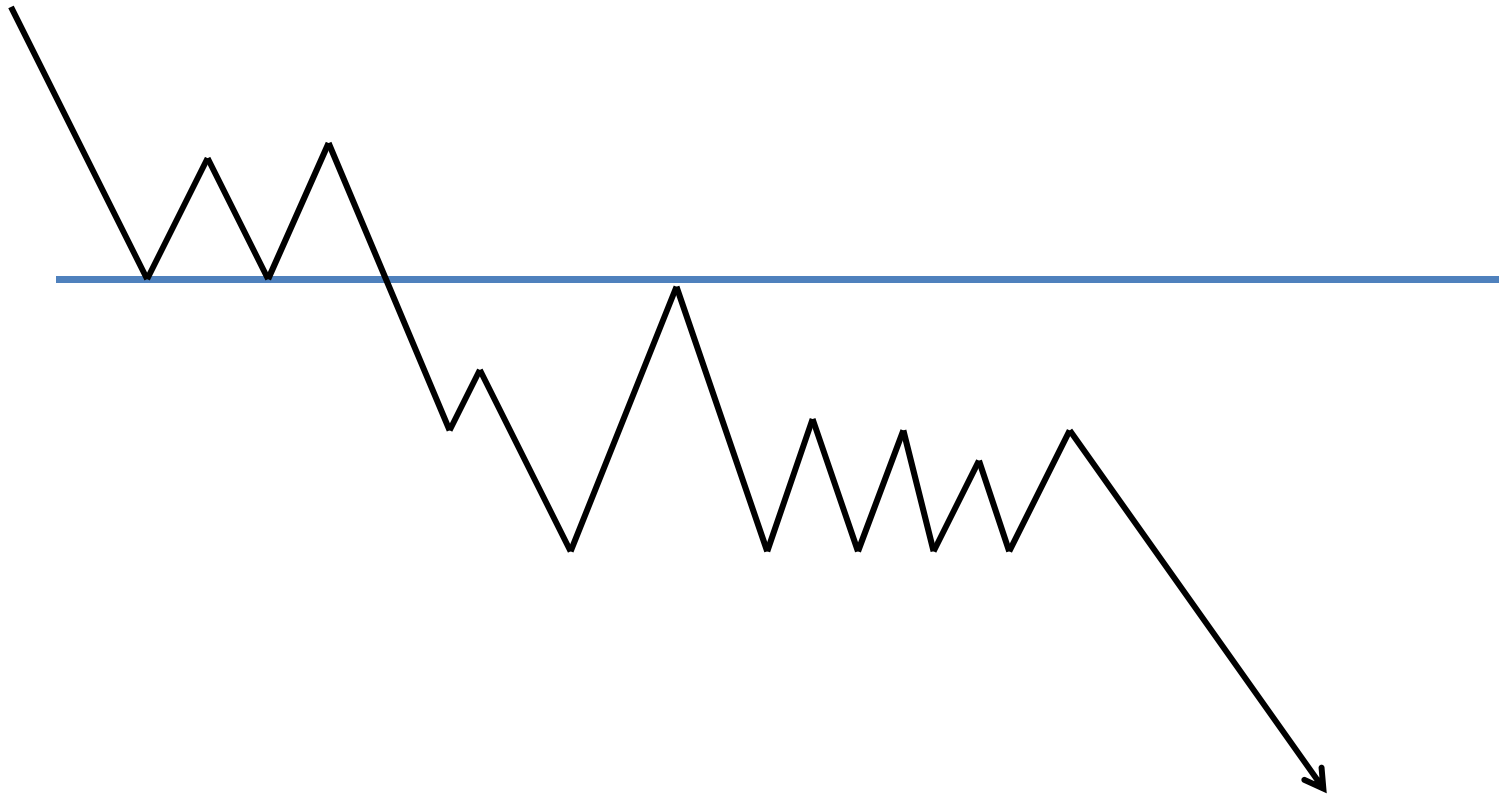


ショート目線を切り替えるポイントは、一旦下に抜けたサポートラインを上を抜けて戻ってしまったところになります。

ブレイクアウトのエントリーを考える

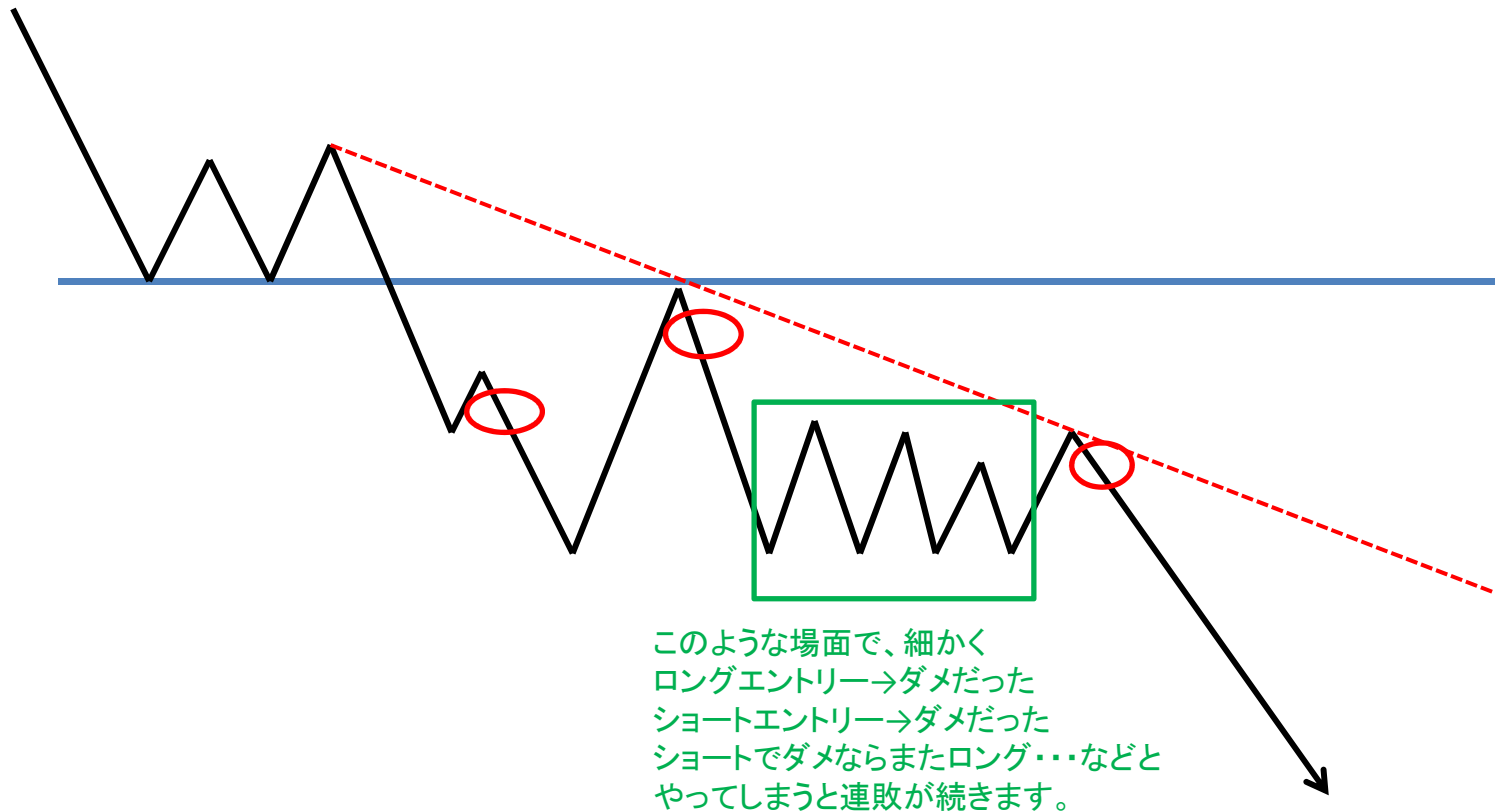


エントリーのポイント



最初の問題に戻ります。もう一度エントリーポイントを考えてみてください。

連敗しないエントリーのポイント



赤の○がエントリーポイントとして考えられます。このようなエントリーポイントが見えてくるとブレイクアウト時にダマシにあって連敗することはなくなります。

注意事項

この資料は、情報提供を目的にしたものであり、利益を保証するものではありません。

また、内容の正確さや、完全さを保証するものではありません。

取引を行う際にはリスクを熟知した上、自己責任において行って下さい。

取引によって生じたいかなる損害の責任についても負いかねます。

本資料を無断で引用、または複製することを禁じます。

本資料の著作権は、鳥居万友美に属します。